

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月11日	作成者名	金子 泰久	評価者名	大熊 傑
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・道路河川課
分野	03 道路	関係課	市民生活部・防犯くらし交通課
施策	52 安全な生活道路の整備		
施策の目的	地域住民の暮らしの基盤となる生活道路の整備により、市民が安心して通行できる安全で快適な道路空間の実現を目指します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	道路維持管理補修事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
通行の快適性の維持	道路補修工事累計延長	km	8.5	1.7	3.6	5.6			
道路空間の充実	道路照明灯のLED化 (LED道路照明灯数/全道路照明灯数)	%	92	40	49	85			
公共座標の更新	公共座標を世界測地系2011に更新する	工程	3	1	1	1			
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>本市の管理道路は、交通の利便性が高い上、交通量が多く舗装ひび割れ等の損傷度の高い路線が増えている。</p> <p>安心・安全な道路環境の整備を行うため、予防保全型の道路補修を計画的に実施することや緊急措置を必要とする舗装等の損傷を効果的・効率的に補修することが求められている。また、交通安全施設も経年劣化が進んでいるため、適切な維持管理を行っていきと共に、道路照明灯のLED化を推進し、道路の安全性の向上を図る必要がある。更に、公共座標の更新や道路境界等の道路情報を充実させ、正確かつ迅速に活用できるようにする必要がある。</p>	対応策	<p>舗装の損傷については、路面性状調査等により舗装補修計画を修正し、路面損傷度の高い路線から、ライフサイクルコストを踏まえ、計画的に舗装補修を実施し、予防保全型の維持管理に努める。また、緊急性の高い補修については、道路巡回パトロールとの連携により、迅速に補修を行う。交通安全施設については、計画的に点検を実施していくと共に、歩行者の安全を優先とした道路整備を実施し、道路照明灯のLED化を進め、安全な道路環境の整備に努める。公共座標の更新については、3年計画により1級から4級基準点を効率的に更新していく。</p>
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	舗装補修計画に基づき、路面損傷度の高い路線から計画的に舗装補修を実施するとともに緊急性の高い舗装等の損傷については、応急措置を含め、迅速な対応を行った。また、道路空間の充実化における照明灯のLED化については、2066基の照明灯をLED化し道路空間の安全性の向上を図った。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	地域住民の暮らしの基盤となる生活道路については、市民からの要望も多く、効果的かつ効率的な道路維持管理が求められており、道路施設の定期的な点検等の強化が必要となっている。今後は、経年劣化が進み、損傷度の高い路線が増えていくことから道路施設の維持管理にかかる予算・人員の増加を必要としている。
↑		

(評価者コメント)

安全な生活道路の整備については、ライフサイクルコストを重視した計画的な補修や更新を行う維持管理を実施するとともに、道路照明灯のLED化を推進する等、安全で快適な道路空間を整備し、道路利用者の安全性・快適性及び交通の円滑化の向上を図るよう取り組んでいただきたい。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月11日	作成者名	金子 泰久	評価者名	大熊 傑
-----	-------------	------	-------	------	------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費 うち 一般財源	
		事業コード	事業内容	事業区分	H29決算額	事業の方向性	実施計画候補	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	施策内優先度			コメント
					H30予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性						
					H31計画額												
	02	緊急道路補修事業		義務	65,098	1		A	B	B	B	1		義		0	
		01 08 02 02 01 02			67,800											0	
		道路施設等に緊急性を要する事態が発生した際、民間企業			56,277											0	
		△7,223			6,000												
02	道路環境管理事業 (道路河川課)																
	01	道路排水施設管理事業		義務	25,784	1		B	B	B	B	1		義		0	
		01 08 02 02 02 01			28,095											0	
		道路付属物の雨水排水設備の清掃並びに道路の除雪等を行			32,689											0	
		2,207															
	02	道路施設管理事業		義務	39,614	1		B	B	B	B	1		義		0	
		01 08 02 02 02 02			50,083											0	
		国土交通省荒川左岸堤防戸田			53,217											0	
		市兼用部分や市道路肩等の除			1,379												
02	道路整備事業 (道路河川課)																
	02	私道舗装事業		任意	503	1		B	B	B	B	1		B		0	
		01 08 02 03 02 02			908											0	
		私道の舗装			908											0	
					552												
計 (千円)					事業費	397,004	448,695	577,982	0								
					うち一般財源	331,381	207,450	404,981	0								

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了